

令和7年度行政事業レビュー「公開プロセス」 論点

事業名	スタートアップ創出型萌芽的研究開発支援事業
論 点	
1. 事業目的や事業内容に照らして適切なアウトカムが設定されるとともに、適切に効果検証がされているか。 ①新たに設定した長期アウトカム（調達後企業評価額が5億円を超えた卒業者の件数）は適切か。 ・企業評価額は時価で変動する点を考慮する必要 ・5億円を大きく超える大成功企業が出ても件数が少なければ評価されない ②中期アウトカム（本事業採択者及び卒業者に対する投資件数）、長期アウトカム（企業評価5億円を超えた卒業者の件数）について、分母となる採択者・卒業者の数も記載して割合も評価できるようにすべきではないか。 ③短期アウトカムにおいて、外部有識者における終了評価の評価基準は適切か。技術性（研究成果の波及性）を重点的に評価すべきではないか。 2. 事業目的を達成する上で、事業の実施方法が効果的なものとなっているか。成果を高めるためにどのような工夫や取組が必要か。 ＜支援金の上限＞ ①支援金の上限（300万円、2000万円）は低すぎないか。金額の根拠は何か。 ②他府省庁のスタートアップ支援金額との比較・検証はされているか。 ＜他府省の支援との連携＞ ③伴走支援における、他府省等のスタートアップ支援事業との連携を更に進めるべきではないか。 3. 一者応札が多く見受けられるが、改善の余地はないか。 ・原因分析や解消に向けた取組をしているか。	